



学校だより

令和6年6月28日 7月号 岩国市立岩国小学校



地域や保護者の方々の支援をいただきながら

コミュニティ・スクールである本校には、「学校運営協議会」が設置されており、委員の方から御意見をいただきながら学校運営を行っています。6月4日（火）に開催した第1回学校運営協議会では、学校の経営方針や取組について説明し、委員の方々から御意見をいただきました。学校を支援したいという御意見を多くいただき、地域や保護者の方々がたいへん協力的であることを改めて感じました。6月には、PTA環境委員の方々が学校敷地内の除草作業をしてくださり、このような支援のおかげで、整った環境の中で教育活動を行うことができます。今後も、地域や保護者の方々のお力添えをいただきながら、より質の高い教育活動を推進してまいりたいと思いますので、御協力をお願いします。学校運営協議会は、年間4回開催する予定であり、今年度は、教職員の研修に参加していただいたり、児童を交えて岩国小学校をよりよい学校にするための話し合いを行ったりする予定にしています。



令和6年度の学校運営協議会委員は以下のとおりです。（敬称略）

栗栖嗣夫（会長） 藤山正則 廣中章展 末岡美智代 吉村三嗣 叶井真奈美 石丸陽子
三浦 哲 本校教職員7人 合計 15人

よさを認め、次の学期に生かす

6月22日の土曜参観日には、多数の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。

早いもので、3週間後の個人懇談会では、1学期のお子様の学校での様子をお伝えすることとなります。私たち大人は、つい子どものできていないことばかりが目につきがちですが、よさを認め、反省すべき点は、どうすればよいかを一緒に話し合っていたいだきたいと思います。

右に紹介するのは、アメリカ合衆国の教育学者であるドロシー・ロー・ノルト博士の書かれた詩です。子どもと接するとき、私たち大人が心に留めておきたいものです。

子ども	ドロシー・ロー・ノルト作
批判ばかりされた子どもは、非難することを覚える。	殴られて大きくなった子どもは、力に頼ることを覚える。
笑いものにされた子どもは、ものを言わずにいることを覚える。	皮肉にさらされた子どもは、鈍い良心の持ち主となる。
	しかし、激励を受けた子どもは、自信を覚える。
	寛容に出合った子どもは、忍耐を覚える。
	賞賛を受けた子どもは、評価することを覚える。
	フェアプレーを経験した子どもは、公正を覚える。
	友情を知る子どもは、親切を覚える。
	安心を経験した子どもは、信頼を覚える。
	可愛がられ抱きしめられた子どもは、世界中の愛情を感じ取ることを覚える。

夏季休業中の学校閉庁日について

岩国市では、夏季休業中に市立小・中学校の閉庁日を設け、省エネルギー対策上の効果を上げるとともに、教職員の夏季における健康増進と休暇取得促進を通して、学校運営の改善を図ることとしており、今年度は、8月13日（火）から16日（金）を学校閉庁日とします。

学校閉庁日における緊急時には、岩国市教育委員会を通して学校長に連絡されるようになっていきますので、緊急の際は、岩国市教育委員会学校教育課に御連絡ください。

<緊急時連絡先> 岩国市教育委員会学校教育課 TEL 0827-29-5203

※ 児童の学校での様子を岩国小学校ホームページにて紹介していますので、上記QRコードからぜひ御覧ください。